

自民総裁に岸田氏



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日报社
©東奥日报社 2021

インターネット
号外

の購読は
お問い合わせは

東奥日报社販売局
0120-40-10000
24時間受付

決選投票 河野氏破る

自民党は29日、総裁選の投開票の結果、岸田文雄前政調会長(64)を第27代総裁に選出した。岸田氏が1回目の投票で1位だったものの、過半数に達せず、2位の河野太郎行政改革担当相(58)との決選投票を実施。岸田氏が勝利した。総裁任期は2024年9月末までの3年間。岸田氏は幹事長など党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。間近に迫る衆院選に向け挙党態勢の構築を急ぐ。

来月4日首相指名

10月4日召集の臨時国会で、退陣表明した菅義偉首相の後継となる第100代首相に指名される。今回の総裁選は高市早苗前総務相(60)、野田聖子幹事長代行(61)を含め4人が

立候補した。決選投票になったのは5回目。安倍晋三前首相が勝利した12年総裁選以来。決選投票は岸田氏257票、河野氏170票だった。1回目の投票結果は岸田氏256

票、河野氏255票、高市氏188票、野田氏63票。

新内閣発足後、岸田氏は所信表明演説と各党による代表質問後、衆院解散・総選挙に踏み切るとの見方が党内で強い。

詳細は30日付朝刊で



自民党の新総裁に選出された岸田前政調会長
長 29日午後3時4分、東京都内のホテル